

## 巻頭言

## “ Anyone has the potential to discover something new !! ”

みなさん、職場での勉強会や学会発表など、人前で話をする機会（プレゼンテーション）が増えていませんか？ 専門薬剤師を目指して論文を作成している先生も、きっとたくさん(?) いらっしゃることでしょ。是非一度、NHK-Eテレ「スーパープレゼンテーション」、またはWebサイト「TED」を覗いてみてください。「TED」とは、価値のあるアイデアを世に広めることを目的としたアメリカの非営利団体で、「技術」「エンターテインメント」「デザイン」の3つの頭文字をとったものです。現在はあらゆる分野における最先端の人々が集まる場へと発展し、TEDトークと呼ばれるプレゼンテーション動画を世界に無料配信しています。トークはもちろんEnglishですが、日本語訳されたものもあります。縁あって国際学会へ発表させていただいた私にとって、ヒアリングトレーニングは言うまでもなく、どのようなプレゼンテーションが効果的なのかを学ぶこともできました。最近では、TEDトークを授業に取り入れている中学校もあるようですよ。(スゴイ!)

ところでタイトルの文言は、Biology Lettersという生物学専門誌に掲載された「Blackawton bees」という論文の共同執筆者エイミー・オトゥール(当時10才)が、神経科学者ポー・ロットとのTEDトークで語った言葉です。「(私もだけど、)誰だって新しい発見ができるのよ!」そう、ふだん見慣れた光景(業務)もチョット視点を変えるだけで、全く新しい発見につながるのです。それに気付いたあなた、是非ご一緒しましょう、2014年CINP (Vancouver) に!!

東海ブロック世話人 宇野 準二

## 2012年度全国処方調査中間報告(調査委員会)

昨年10/31に実施した処方調査では、全国154施設より、総計21,798症例の貴重なデータをご提供頂きました。多忙な日常業務にもかかわらず調査にご協力頂きました先生方、本当にありがとうございました。

【調査背景】 参加施設数：154施設      データ数：21,798症例      平均年齢：58.8歳

## 【集計結果】

	平均処方剤数	平均投与量 ± 標準偏差	単剤処方率
抗精神病薬	2.0 ± 1.1剤	794.1 ± 647.5mg (CP換算)	34.9%
抗パーキンソン薬	0.7 ± 0.7剤	1.7 ± 2.2mg (BP換算)	
抗不安薬・睡眠薬	1.3 ± 1.1剤	13.4 ± 17.2mg (DAP換算)	

【発表予定】 本年5/23~25、福岡で開催される第109回日本精神神経学会学術総会において2演題発表いたします。今回は、全体としての処方実態、並びにデポ剤の処方動向について報告する予定です。多くの先生方のご参加をお待ちしています。

東海ブロック世話人 宇野 準二

## 2012年度下期の活動状況

## 基本テーマ：双極性障害の病態・診断・治療

先生方のお名前は敬称略で記載させて頂いております。

ブロック	開催地	開催日	特別講演	症例検討	追加プログラム 病院紹介/ショートレクチャー	参加人数	
北海道	札幌	12月 1日	北海道大学 橋本 直樹	中江病院 中山 誠	旭山病院 林 一美	40	
東北	盛岡	11月18日	岩手医科大学 三條 克巳	岩手医科大学 三條 克巳	菅原病院 大城 布美子	18	
	仙台	12月 9日	佐藤病院 栗田 征武	佐藤病院 栗田 征武	菅原病院 大城 布美子	36	
関東・甲信越	東京	3月10日	聖マリアンナ医科大学 長田 賢一	横浜市立大学附属 市民総合医療センター 坂本 修	済生会横浜市東部病院 吉邨 善孝	東邦大学医学部 杉山 篤	42
	大宮	3月 3日	自治医科大学 岡島 美朗	西熊谷病院 福島 泰輔	みさと協立病院 牛尾 幸子	27	
	千葉	3月24日	しのだの森ホスピタル 信田 広晶	千葉大学 渡邊 博幸	—	13	
東海	名古屋	3月 3日	名古屋大学 岩本 邦弘	名古屋大学 岩本 邦弘	八事病院 宮浦 淳一	北勢病院 一木 義文	43
北陸	金沢	3月 3日	福井大学 医学部附属病院 小俣 直人	加賀こころの病院 喜多 克尚	加賀こころの病院 中川 将人	高松病院 琴坂 幸広	41
近畿	大阪	2月 3日	関西医科大学 片上 哲也	関西医科大学 片上 哲也	七山病院 木本 貴美	—	57
	京都	2月17日	関西医科大学 片上 哲也	関西医科大学 片上 哲也	七山病院 池内 加代	—	35
中国・四国	広島	3月24日	ふたば病院 西山 聡	ふたば病院 西山 聡	草津病院 別所 千枝	吉田総合病院 梶谷 真也	39
	香川	2月 3日	丸亀病院 長楽 鉄乃祐	宇和島病院 鎌田 真由美	—	17	
九州	福岡	3月17日	九州大学病院 三浦 智史	大分大学 河野 健太郎	九州大学病院 永田 健一郎	大分大学 河野 健太郎	93
	鹿児島	3月17日	鹿児島大学病院 中村 雅之	谷山病院 高橋 誉	鹿児島県立始良病院 宇宿 寛実	23	
	沖縄	2月17日	平安病院 安里 尚彦	平安病院 天久 武弘	東邦大学 吉尾 隆	15	

## ブロック講演会 参加会場に関するお知らせ

いつもPCP研究会のブロック講演会にご参加いただき、ありがとうございます。

ご存じのようにPCP研究会のブロック講演会は全国8ブロック15会場で開催しておりますが、PCP会員の皆様はご自身の所属ブロック内だけではなく、ご都合にあわせ全国のお好きなブロック講演会への参加が可能です。今後、他ブロック講演会へ参加される際は、お手数をおかけしますが、PCP事務局へ事前にご連絡くださいますようお願いいたします。これからもPCP研究会ならびにブロック講演会への参加をよろしくお願い申し上げます。



PCP事務局より

## 「みんなねっと」お薬相談に参加して

11月21日(水)、22日(木)につくば国際会議場で開催された「みんなねっと」に吉尾先生、伊師先生(永井ひたちの森病院)、加藤先生、長谷川先生と参加しました。初日から多くの相談者の方が来られ、分科会の合間には順番待ちの状態でした。お薬手帳や薬情を持って熱心に質問してくるご家族や薬を飲むことに対する不安を訴える当事者もいらっしゃいました。また、家族会などで薬の勉強会を開催したいが、どこに依頼したら良いかなどの質問も多数あり、薬剤師に対しての要望も増えてきていると感じられました。



\*筆者は写真左側



関東・甲信越ブロック世話人 高橋 結花



## 評価尺度DVDの貸し出しのご案内

平素はPCP研究会の講習会にご参加いただきありがとうございます。

PCP研究会では、2013年度の講習会よりワークショップにおいて精神症状評価尺度を用いた症例検討を行います。社団法人日本精神科評価尺度研究会監修のトレーニングDVDを使い評価尺度を用い、2013年度上期講習会では、うつ病の評価尺度(MADRS)について学びますので、皆様ぜひご参加ください。

また、PCP研究会の会員の先生方には、社団法人日本精神科評価尺度研究会のご協力によりトレーニングDVDの貸し出しをいたします。こちらの方もぜひご利用ください。

- ・日本語版MADRSTレーニングDVD(評価対象:うつ病)
- ・日本語版HAM-DトレーニングDVD(評価対象:うつ病)
- ・日本語版YMRSトレーニングDVD(評価対象:躁病エピソード)

貸し出し手数料(郵送代含む) 500円

申し込みの詳細につきましてはPCP事務局までご連絡ください。



北陸ブロック世話人 中川 将人

## 「病棟薬剤業務実施加算」申請状況について

平成24年度の診療報酬改定において、「病棟薬剤業務実施加算」が認められてから早1年が過ぎ、その算定施設は、1014施設(平成25年1月末現在)となっております。この数字は日本病院薬剤師会の予想数をはるかに越え、皆様の努力により更に順調に伸びております。その中、精神科病棟は大学病院18施設、総合病院26施設、精神科病院17施設の計61施設が算定しているものの、大学病院や総合病院の増加傾向に対し、精神科病院はスタッフ数の不足により、申請後に辞退する施設も出ております。

日本病院薬剤師会では、次回の診療報酬改定において、精神科も一般科と同じ基準になるよう活動しており、引き続き、会員の皆様のご支援・ご協力をお願いいたします。

副代表世話人 天正 雅美

## 2013年度上期ブロック講演会開催(予定)のご案内

ブロック	場 所	開 催 日	会 場
北海道	札 幌	6月 9日(日)	大塚製薬(株)札幌支店
東 北	盛 岡	6月30日(日)	マリオス盛岡
関東・甲信越	東 京	10月20日(日)	秋葉原UDX
	千 葉	7月 7日(日)	大塚製薬(株)千葉支店
	大 宮	6月16日(日)	ラフレさいたま
東 海	名古屋	7月28日(日)	ウィンクあいち 愛知県産業労働センター
北 陸	金 沢	8月 4日(日)	石川県地場産業振興センター
近 畿	大 阪	8月 4日(日)	梅田スカイビル
中国・四国	岡 山	9月 7日(土)	岡山コンベンションセンター
	高 知	8月 4日(日)	高新文化ホール
九 州	福 岡	8月25日(日)	福岡国際会議場
	沖 縄	(検討中)	(検討中)

※開催日および会場は、都合により変更となる場合がありますので、詳細はPCP研究会ホームページの活動状況欄をご覧ください。

事務局  
掲示板

■2013年度会費(2013年4月～2014年3月分、年会費：2,000円)  
納入のお願い

年会費のお支払いは、ご出席の講演会開催前までにお振り込みにてお願いいたします。

【郵便局】口座名：精神科臨床薬学研究会 口座番号：00170-2-578959

\*通信欄に、必ずご施設名、お名前、会員番号をご記入ください。  
(会員番号は、Newsletterの封筒の宛名シールに記載されています。)

■講演会プログラム

講演会開催日1ヶ月前を目処に各講演会プログラムをホームページ  
<www.pcp-rg.org>に掲載しております。

■特別講演DVD「双極性障害の病態・診断・治療」貸出中

2012年度下期講演会を欠席された会員の皆様にDVDを貸出しております。  
希望される方は事務局までご連絡ください。バックナンバー(演題はホーム  
ページに掲載)の貸出も受け付けております。

■事務局連絡先

〒104-0033 東京都中央区新川1-2-8 第5山京ビル6階 株式会社ネオファルマ 内  
E-mail: contact@pcp-rg.org (メールには必ず、1.施設名、2.氏名を記載して下さい。)  
FAX: 03-5540-3011 URL: http://www.pcp-rg.org/

## 【編集後記】

おかげさまでNewsletter Advance No.14を無事発行することができました。今年度は病棟薬剤業務実施加算開始から2年目に突入し、来年の診療報酬改定に向けて大事な年になります。日常業務で多忙な毎日ではあるかと思いますが、精神科薬剤師の未来に向けて力を合せて頑張りましょう!  
(Y.M.)

